

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

経営学学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	(1) 理論を実践に応用する能力の習得	○				○	○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 経営学・マーケティング・会計学などは実学的専門領域であるため、専門知識の理論的内容を勉強するのみならず、それを実践に応用する能力を身に付ける必要がある。インターシップ等の科目を通じて、修得した知識を実践の場で活用し、自ら問題を発見し、取り組み、そして最終的に論理的思考に基づいて実践において最適な意思決定を下すことが鍛えられるため								
	(2) 高度な職業倫理観と的確な判断能力の習得	○	○			○		○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 高度な職業倫理と的確な判断能力を養うためにまず基礎知識の修得から始まる。ゼミナール等の演習科目を通じて、集団における個人の役割とチーム成果の向上に繋がる個人の努力について学習することが出来る。他人との相互作用を通じて個人の社会性を養い、組織内の規範やルールを意識することで、社会にでたあとでも社会規範・ルールを遵守し高度な職業倫理を形成する。さらに自らの価値観を相対化し、的確な判断能力を身に付けることが期待できるため								
	(3) 高い専門性と幅広い教養を併せもつリーダーシップの習得	○				○	○		○
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) プログラム専門科目の履修を通じて高度な専門知識を身に付けながら、全学の共通教育科目や学部共通基盤科目・プログラム複合科目等を履修することで専門分野の垣根を超え、より幅広い知識の修得が期待できる。これらの知識を活かし複雑化した現代社会の課題について、他人と討議・協働し、解決策を見出しながら本人のリーダーシップが鍛えられるため									
(4) 国際社会で活躍できる国際感覚の養成と外国語運用能力の習得	○			○		○		○	
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 外国文献の講読、英語による講義や演習を通じて学生の語学力を鍛えながら、コミュニケーションにおける語学運用能力の向上を図る。また外国語文献・雑誌・ネット記事等を通じて異文化とふれあい、諸外国の情勢を知ることで、学生の視野を広げ、国際観を養いながら国際社会に対する理解や異文化に対する適応力の向上が期待できるため									
(5) 地域社会の発展に寄与できる課題解決能力の習得			○	○		○	○	○	
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 事例研究や第一線で活躍している実務家講師の講義を受けることで、地域社会の課題発見や解決策の考案、そしてさらなる発展に繋がる発想を鍛える。また、民間企業や地方自治体などで開催される提案コンテスト・アイデア募集に積極的に参加することで、産・官・学の連携を図り、将来、沖縄経済や地域社会に貢献できる人材を育成することと同時に、大学教育を狭い象牙の塔に閉じることなく、地域社会に開き、還元できる仕組みが用意されているため									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									